

令和3年度  
埼玉県技術・家庭科  
懇話会

# 会報

第43号

令和4年3月31日発行

懇話会会長挨拶 先生、頑張ってください。  
埼玉県技術・家庭科懇話会  
会長 羽島 隆夫

研究会会長あいさつ  
埼玉県中学校技術・家庭科教育研究会  
会長 安藤 義仁  
(蓮田市立黒浜中学校長)

新型コロナウイルスが変異を続け今年はステルスオミクロンという第6波の感染拡大が続いています。ワクチン接種も3回目となり、この先一体いつまでこのウイルスとの戦いが続くのか不安な毎日です。

会員の皆様には、お元気でご活躍の事と拝察します。このような状況の中で、本会も令和4年度の懇話会総会及び、懇親会を中止とさせて頂きました。学校の方は如何でしょうか。学校閉鎖、学級閉鎖・・・と指導計画は全く計画通りには行かず、特に実技・実習を伴う技術・家庭科では、影響も大変なのではないかと思えます。リモートでの授業ができる環境は今回のコロナへの対応により急遽構築されたようですが、如何ですか。技術・家庭科の授業にはなじまない部分が多々あるのではないのでしょうか。リモートでの技術・家庭科の授業、私には想像できませんが、先生方の様々な工夫により行われているのではないかと思います。頭を使い、身体を使い考えながら先生と共に学んでいく教科です。例えばリモートとなっても学習を止める訳には行きませんが、先生方がいろいろと工夫し苦労をして授業に取り組んで居られるのかと思うと「頑張ってください」と励ます事しかできない状況に歯がゆい思いを感じています。

いろいろな会合も、打ち合わせも、研究会の活動も中止・・・と様々な活動が止まっている事と思えますが、子ども達への教育活動を止める訳にはいきませんが、このような状況は誰もが初めての経験です、こんな時こそ皆さんで互いに連絡を取り合い、授業の工夫、教材の工夫等一人ひとりの力を結集して頑張ってください。

デジタル化には長けている技術・家庭科の先生方です。他の教科とは違った視点からICTを大いに活用して取り組んで下さい。

みんな苦しんでいます。みんな悩んでいます。  
健康には十分ご留意し、頑張ってください。

このような状況ですが、懇話会の活動は続けて参ります。会員の皆様には、今後共ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

埼玉県中学校技術・家庭科懇話会の羽島隆夫会長様をはじめ会員の皆様方には、物心両面からの御理解・御支援いただき衷心より御礼申し上げます。この度、ホームページ整備をされたというお話を伺いました。多くの先生方への、より一層の広報や、同胞への声掛けの基盤にできることと思われまます。当研究会からもリンクさせていただきます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

昨年度は、コロナ禍における感染拡大防止策の一環として人流抑制のために集会が持てず、多くの事業が中止となりました。本年度は、中学校で新学習指導要領が全面実施となる中で、コロナ禍は依然として収束を見ない状況ではありますが、「できるところから動き出す年」とし、GIGAスクール構想により整備された環境やこれまでの経験を生かして、研究会の動きが止まらないように努めております。支部長会・専門委員会等の会議や、SAITAMA創造ものづくり教育フェア・全国創造ものづくり教育フェアの運営等、集まれずともオンラインでの実施を試みて、体制の再整備やノウハウの蓄積など、来年度の本格稼働に向けて成果を上げることができました。Web開催となった関ブロ兼全国研究大会東京大会では、これまでの取り組みをもとに埼玉県提案を紙上にて行いました。新学習指導要領の下で教育課程から指導法や評価まで、様々な検討が各校で行われています。関ブロ埼玉大会を5年後に控え、これらの情報を効率よくまとめ、県全体のレベルをさらに上げ、維持して、発表に繋げられるようにして参ります。コロナ禍、働き方改革に伴う集会の制限、事務局の移転と持続可能な会の運営等、様々な課題がありますが、運営スタッフの知恵と創意工夫により対応・解決を目指しております。結びに、当研究会への変わらぬ御理解、御支援、御厚情と共に、御指導御示唆をいただけますようお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。